

命を守ろう!

【問合せ】[熱中症予防] 保健医療企画課 (☎39・9149)

[応急手当] 消防救急課 (☎51・3101)

[クールシェアスポット・クーリングシェルター]

環境政策課 (☎51・2399)

HP 112631

熱中症で385人が搬送され、そのうち82人が入院、2人が亡くなっています。
で熱中症予防のポイントや対処法を知り、熱中症から命を守りましょう。

のポイント



急手当

意識障害、けいれん発作、
高体温などの症状

救急車を要請。救急車が到着するまで、衣服を脱がせ、保冷剤を当てる、水をかけるなどして身体を冷やす



クールシェアスポット・クーリングシェルター

冷房の効いた指定施設を、クールシェアスポットとして10月22日(水)まで開放します。暑い日にお立ち寄りください。また、熱中症特別警戒アラートが発令された際には、クールシェアスポットはクーリングシェルター(指定暑熱避難施設)として機能します。以下のマークを目印に、ご利用ください。



クールシェアスポット
マーク



クーリングシェルターマーク
(指定暑熱避難施設)

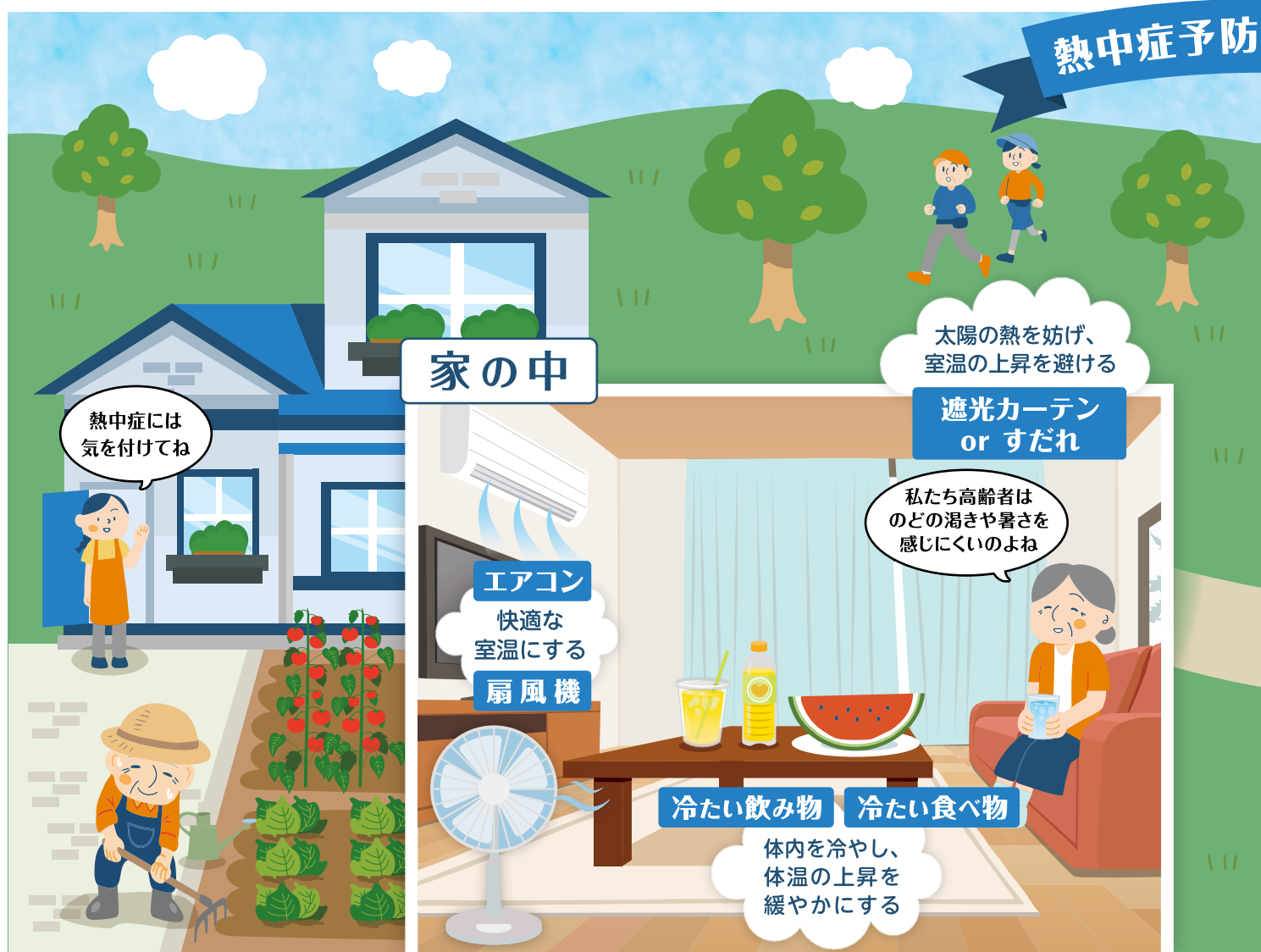


クールシェアスポット
クーリングシェルター一覧

特集

熱中症から

近年、誰もが熱中症になる危険が高まっています。市内では昨年の夏に、熱中症は屋内でも発生していますが、適切な予防で防げます。この特集



熱中症かも？体調が悪い人を見かけたときの応

意識ははっきりしているが、めまいや立ちくらみなどの症状

涼しい場所に移動して身体を冷やし、水分や塩分の補給をさせる

1人にしない



頭痛や吐き気、だるいなどの症状

医療機関に連れていく

状況のわかる人が医療機関に同行

